

ICTを活用したスマートシティの事例等に関する調査の請負 ベンチャーや市民等の力を活用した街づくりの事例

2017年3月

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
社会システムコンサルティング部

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

ベンチャーや市民等の力を活用し地域課題を解決するプロセスの整理

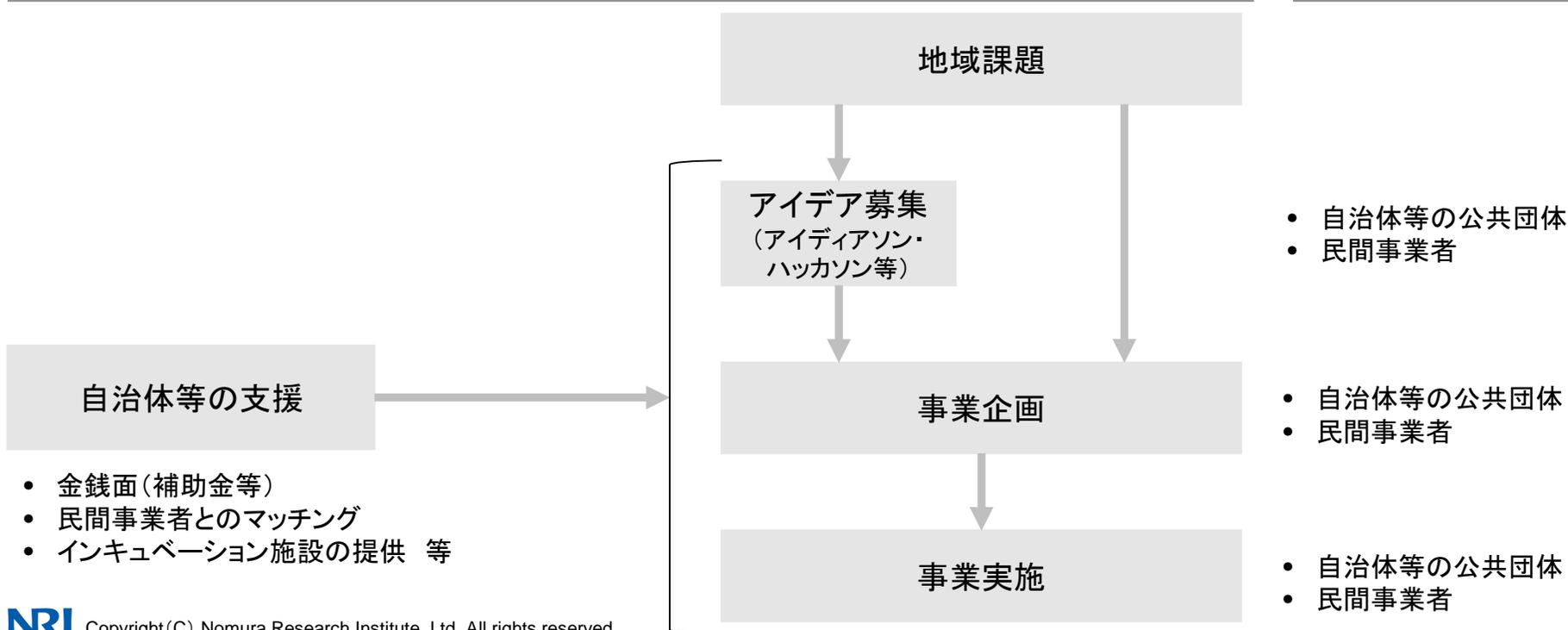
ベンチャーや市民の力を活用し地域課題を解決する手段として、「アイデア募集」、「事業企画」、「事業実施」のプロセスがあり、各々で公共・民間が実施主体となるケースがある。

- 自治体が抱える地域の課題を解決する手段として、ベンチャーや市民等の力を活用する場合、アイデアソンやハッカソン等による「アイデア募集」、「事業企画」、「事業実施」のプロセスがあり、それぞれにおいて実施主体が自治体等の公共団体や民間事業者のケースが考えられる。
- 事業を実施するまでのプロセスとして、アイデアソンやハッカソン等を実施しないケースも考えられる。
- 自治体の関わり方としては、それぞれのプロセスで自治体の実施主体にならなくとも、補助金等の金銭面や民間事業者とのマッチング、インキュベーション施設の提供など、様々な支援を自治体が行うこともある。

ベンチャーや市民等の力を活用し地域課題を解決するプロセス

プロセス

実施主体



海外における取り組み事例

事例名	イベント実施や事業実施の都市・地域	実施主体	実施内容	実施主体属性		
				アイデア募集	事業企画	事業実施
Startup in Residence	米国 サンフランシスコ	サンフランシスコを中心にオークランド、サンレアンドロ、ウェストサクラメント	<ul style="list-style-type: none"> サンフランシスコを中心にオークランド、サンレアンドロ、ウェストサクラメントの4都市共同で、16週間という短期間で商品やサービスを開発・改善するための公募。 2016年は1月末～2月末に公募し、開発・改善期間は7月末、結果プレゼンを8月、デモは9月に実施。 ただし、これはあくまで新規商品・サービスの開発・プレゼンの場であり、スタートアップ後、政府などその他スポンサーがつけば事業につながる可能性はありながらも、「対等なパートナー関係」であり、政府補助金プロジェクトではない点がポイント。 各専門家（IT、デザイン、マーケティング、提携経営、オフィスの貸し出しなど）の相談が受けられる。 	公共	民間	民間
Cognicity Challenge	英国 ロンドン	ロンドン市・Canary Wharf Group	<ul style="list-style-type: none"> スマートシティ関連のスタートアップ会社にオフィス・技術インフラを提供。 運営は英国のデベロッパー企業Canary Wharf Group。 参加スタートアップは1 2週間の間集中研修プログラムを受けられる。 	公共	民間	民間
Impact City The Hague Innovators	オランダ ハーグ	ハーグ市	<ul style="list-style-type: none"> Livable City/ Social Impact/ Mobilityと3つの分類に分けた取組例。 取り組みテーマとしては、ごみ問題、自転車駐輪問題、交通電化、公共のフロントオフィスの効率化、政府施設の利用についての情報効率化、住民と企業のための地区計画効率化等がある。 	公共	民間	民間
Join IDEO London as a start-up in residence!	英国 ロンドン	IDEO	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業であるIDEOはサンフランシスコに本社を置き、その他シカゴ、ミュンヘン、NYC、上海、東京に支社のあるグローバルデザイン企業。 本事例はロンドンの支社の民間プロジェクトで、2012年から7つの会社がビジネス・技術・デザインパートナーとして招聘。 2015年は1月から3カ月のスタートアップ期間（健康・食品分野）で実施。 	民間	民間	民間

国内における取り組み事例(1/2)

事例名	イベント実施や事業実施の都市・地域	実施主体	実施内容	実施主体属性		
				アイデア募集	事業企画	事業実施
社会実装型ハッカソン「まちつむぎ」	石川県金沢市・東京都	総務省・野村総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> 地域の社会的課題に直面している人と、アイデアを持っている人等の多様な人が集まり、ビッグデータ等のデータを活用した課題解決策の創出を目指す「場」として社会実装型ハッカソンを実施。 「子育て」、「商店街」の課題に対して、参加者がユーザーテスト、シンポジウムに進出し、サービスを創出。 	公共民間	公共民間	公共民間
熱意ある地方創生ベンチャー連合	三重県、奈良県等	アソビュー株式会社が中心となって13社が幹事メンバーを、23社が会員メンバーを努める	<ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業自らが積極的に地域に関わり、ITを活用したイノベーションを生み出し地域の課題を解決することにより、持続的な地域の経済発展に貢献することを目的として、2015年7月に立ち上げ。 	民間	民間	民間
鹿児島県長島町におけるベンチャー企業活用事例	鹿児島県 長島町	長島町、株式会社コアース	<ul style="list-style-type: none"> 町からの依頼でインターネットで特産品を販売する方法等の講演をしたことをきっかけに、社長の土井氏が、「地域おこし協力隊」として長島町に拠点を移し、ITによる地方創生に取り組んでいる。 地域特産品である「鱒王」のブランディングやネット販売のサイトの立ち上げ、ネットで人材募集の活動等を行う。 	公共	公共民間	民間
ジャパン・スタートアップ・セレクション	東京都	スタートアップ都市推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 2013年12月に福岡市が中心となって立ち上げ。 シンポジウム及びマッチング交流会として、「ジャパン・スタートアップ・セレクション」を毎年開催。 	公共	民間	民間
データシティ鯖江	福井県 鯖江市	福井県鯖江市、株式会社jig.jp、NPO法人エル・コミュニティなど	<ul style="list-style-type: none"> 公共機関がもつさまざまなデータを使いやすい形で広く公開し、市民が活用できるようにする「オープンデータ化」することで、ベンチャー企業にアプリ開発などを促進。 たとえば「災害時の避難所の位置、ルート」アプリでは、GPS機能を利用して、現在地から最寄りの避難場所までの最短ルートが表示される。 また、鯖江市では2008年より「鯖江市地域活性化プランコンテスト」も行っている。 	公共	民間	民間

国内における取り組み事例(2/2)

事例名	イベント実施や事業実施の都市・地域	実施主体	実施内容	実施主体属性		
				アイデア募集	事業企画	事業実施
がたまるアイデアソン&ハッカソン	新潟県新潟市	新潟市、NPO法人にいがた地域情報化推進協議会、信越情報通信懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 「新潟の“〇〇どころ”を作る」をテーマとして、オープンデータを活用した産業振興を目的に開催。 アプリ開発をもちろんのこと、併設イベントとして“手型アート体験”や“新潟「再発見」マッピングパーティー”が同時開催。 	公共	—	—
トマトHACK!!	東京都	高知県	<ul style="list-style-type: none"> 高知県の特産品であるトマトのブランディングやPRの促進を目的として2015年12月に開催。 アプリ開発だけでなく、高知県産のトマトの特徴を生かして料理まで作るという新たな切り口を取り入れ、クッキングもできるコワーキングスペースで実施。 	公共	公共	公共
さくらハッカソン	東北	東北・夢の桜街道推進協議会、あしたのコミュニティラボ	<ul style="list-style-type: none"> 「さくらで東北地域の魅力を発信して観光客を呼び、地元との交流を加速させて地域を活性化する」というテーマで開催。 エンジニア、デザイナー、学生など、集まった40名の参加者はAPIを自由に利活用し、サービス開発を行った。 	民間	—	—

実施主体属性で類型化を行うと、以下の3つのケースに分類できる。

実施主体属性で類型化した3つのケース

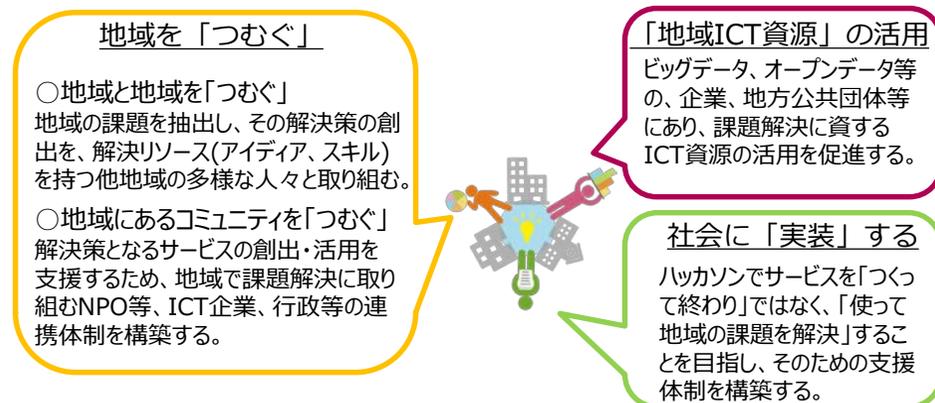
ケース名	対象事例の例
全プロセスを通して民間事業者が実施主体となるケース	<ul style="list-style-type: none">• 熱意ある地方創生ベンチャー連合• さくらハッカソン• Join IDEO London as a start-up in residence!
全プロセスを通して自治体等の公共団体が実施主体となるケース	<ul style="list-style-type: none">• がたまるアイデアソン&ハッカソン• トマトHACK!!
実施主体が、自治体等の公共団体と民間事業者にまたがるケース	<ul style="list-style-type: none">• 社会実装型ハッカソン「まちつむぎ」• 鹿児島県長島町におけるベンチャー企業活用事例• ジャパン・スタートアップ・セレクション• データシティ鯖江• Startup in Residence• Cognicity Challenge• Impact City The Hague Innovators

アイデア募集	公共・民間
事業企画	公共・民間
事業実施	公共・民間

公共・民間が主体となって行われる社会実装型ハッカソン「まちつむぎ」

事例名	<ul style="list-style-type: none"> まちつむぎ
都市名	<ul style="list-style-type: none"> 石川県金沢市、東京都
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 総務省・野村総合研究所
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 後援：石川県金沢市 協力：片町商店街振興組合、子育て向上委員会
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 2014年度に、地域社会が抱える問題を解決するための「場」を構築するため、《地域の課題に直面している人々》と、《アイデアやスキルを持っている多様な人々》が地域を越えて集まり、ICTを活用した解決策となる「サービス」を創出するためのイベント（＝ハッカソン）を実施 さらに、創出された「サービス」が実際に地域で活用されるようサポートする体制を構築し、また、「サービス」の事業化を目指した 42名が参加。参加者の半数がハッカソン参加経験が無く、同種のイベントとして珍しい、多様な参加者が集まる「場」となった
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て」の課題に3チーム、「商店街」の課題に4チームが形成され、各課題につき2チームがユーザーテスト、シンポジウムに進出し、サービスを創出 「まちつむぎ」モデルのノウハウをまとめたパンフレットを作成し、維持費が発生しない形でWEBサイトを作成し、継続的に情報発信可能な体制を構築
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 石川県金沢市が後援

「まちつむぎ」のポイント



ハッカソンから創出されたサービス

どこちっち 旧称：子連れマップ
(まちつむぎ子育て賞、まちつむぎオーディエンス賞)



乳幼児をつれての外出で必須となる多機能トイレや駐車場、授乳施設などの位置を簡単に検索・確認できるようにする子育てママの外出を支援するサービス。ユーザーで写真等の情報を登録することが可能。

One More Kanazawa
(まちつむぎ商店街賞)



滞在時間の限られた観光客・出張客が普通の観光ルートではあまり行かない商店街という奥深い金沢に出会い、時間を有意義に使えるようにするサービス。残りの滞在時間から滞在プランを逆算するインターフェース等が特徴。

アイデア募集	民間
事業企画	民間
事業実施	民間

ベンチャー企業の連系した取り込み「熱意ある地方創生ベンチャー連合」

事例名	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 熱意ある地方創生ベンチャー連合
都市名	<ul style="list-style-type: none"> 東京都渋谷区（アソビュー株式会社内）
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 遊び・体験の予約プラットフォーム「asoview!」を提供するアソビュー株式会社を中心となって13社が幹事メンバーを努める
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 幹事メンバーの他に、オイシックス株式会社など23社が会員メンバーとなっている また、協賛団体としてスタートアップ都市推進協議会と一般社団法人G1サミットが名を連ねる
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業自らが積極的に地域に関わり、ITを活用したイノベーションを生み出し地域の課題を解決することにより、持続的な地域の経済発展に貢献することを目的に、2015年7月に立ち上げ 「観光振興・地域PR」や「ICTを活用した中小企業支援」など分科会のテーマに沿って地域課題の解決に向けた議論を自治体も参加しながら全国各地で意見交換会を実施 年に一度「地方創生ベンチャーサミット」を開催しており、2016年は三重県四日市市で400人以上の来場者が参加し、地方創生について議論された
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの会社で具体的な事例につながっているものはあると想定されるが、詳細は不明
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 協賛団体として、地方公共団体が集まった協議会であるスタートアップ都市推進協議会が参加している 意見交換会や地方創生ベンチャーサミットには各地の地方公共団体が参加している

分科会のテーマ

観光振興・地域PR	少子化対策・子育て支援・教育
創業支援	就労・副業支援
農林水産イノベーション	遊休資産活用
地方創生人材の獲得・育成	ICTを活用した中小企業支援

2016年8月に行われた奈良市意見交換会の様子



出所)熱意ある地方創生ベンチャー連合ウェブサイト

ベンチャーや市民等の力を活用した街づくりの事例

自治体がベンチャー企業と連携しながら事業を行う 「鹿児島県長島町におけるベンチャー企業活用事例」

アイデア募集	—
事業企画	公共 民間
事業実施	公共 民間

事例名	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県長島町におけるベンチャー企業活用事例
都市名	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県 長島町
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 長島町、株式会社コアース
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ビズリーチ、ルクサ、辻調理師専門学校、楽天など
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 町からの依頼でインターネットで特産品を販売する方法等の講演をしたことをきっかけに、社長の土井氏が、「地域おこし協力隊」として長島町に拠点を移し、ITによる地方創生に取り組んでいる 地域特産品である「鯨王」のブランディングやネット販売のサイトの立ち上げ、ネットで人材募集の活動等を行う 「長島大陸食べる通信」として3ヶ月に1度、情報誌と共に特集した食材を届けるサービスを立ち上げ ビズリーチが運営する求人検索エンジン「スタンバイ」と連携して「地域おこし協力隊」を募集、有料会員制レストラン予約サイト「ルクサ リザーブ」立ち上げメンバーを採用して、一流シェフ招聘事業を開始した。また、大阪市の辻調理師専門学校と連携して、同校出身者のシェフを長島町に招き、鯨王などの特産品の知名度向上や、楽天本社の社食でのPRを行っている
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none"> 長島町内では、多くの成果が生まれているが、他の自治体への展開については現段階では確認できない
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 「地方創生人材支援制度」で派遣されている副町長の井上氏が全面的にバックアップ 「地域おこし協力隊」の追加募集、彼らへの住居提供等

「長島大陸食べる通信」



出所) 長島大陸食べる通信ウェブサイト

楽天で行われた「鯨王」のPR



出所) 井上副町長ブログサイト

アイデア募集	公共
事業企画	公共
事業実施	公共

公共が主体となって行われるアイデアソン・ハッカソン「トマトHACK!!」

事例名	<ul style="list-style-type: none"> トマトHACK!!
都市名	<ul style="list-style-type: none"> 東京都港区
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 高知県
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 高知県園芸連、富士通株式会社、株式会社富士通総研、ニフティ株式会社、富士通ホーム&オフィスサービス株式会社
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 高知県の特産品であるトマトのブランディングやPRの促進を目的として、2015年12月に東京都内のキッチン付きイベントスペースにて開催されたアイデアソン・ハッカソン アプリ開発だけでなく、高知県産のトマトの特徴を生かして料理まで作るという新たな切り口を取り入れ、クッキングもできるコワーキングスペースで実施
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none"> 2016年2月に開催された、高知県内のトマト農家が一堂に会し、トマトの魅力を発信する「トマト・サミット in グランフロント大阪」にて、グランプリを受賞した「トマトプロジェクションマッピング」を展示 毎日の健康のため、その日の活動と興味のあることを入力することで高知の特産品を利用したジュースを提案するアプリ「高知のおすそわけ」を配信
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 自治体が主体となって開催

「トマトHACK!!」のプログラム

<p> 1日目 アイデアソン</p> <p>9:30 - 9:45 受付 9:45 - 10:25 オリエンテーション 10:25 - 11:20 キーノートスピーチ 11:20 - 11:50 技術紹介、食材紹介 11:50 - 12:45 お昼休み (昼食は各自とっていただきますが、会場で調理をすることももちろん可能です！) 12:45 - 13:45 課題討議 13:45 - 14:45 課題解決のアイデアを考える 14:45 - 15:15 アイデアのピッチ 15:15 - 15:45 チーミング 15:45 - 19:30 調理・開発 20:00 - 21:30 懇親会 (自由参加)</p>	<p> 2日目 クック&ハッカソン</p> <p>8:30 - 8:45 受付 8:45 - 14:00 調理・開発 (昼食は各チームで取っていただきます。会場で調理可能です。) 14:00 - 15:00 発表・審査・表彰 15:00 - 16:00 総評・クロージング</p> <p></p>
--	---

グランプリを受賞した「トマトプロジェクションマッピング」



プロジェクションマッピング技術を用いて、トマトに表情を付与するだけでなく、トマトの歌を歌う。産地の紹介やレシピの提案だけでなく、興味を持って貰う仕組み。

出所)「トマトHACK!!」ウェブサイト

ベンチャーや市民等の力を活用した街づくりの事例

自治体がアイデア募集を主催し民間につなげる - その①

「Startup in Residence (STiR)」

アイデア募集	公共
事業企画	民間
事業実施	民間

事例名	• Startup in Residence (STiR)
都市名	• 米国サンフランシスコ市
実施主体	• サンフランシスコを中心にオークランド、サンレアンドロ、ウェストサクラメントの4都市共同
協力団体	• 民間ベンチャー
実施内容	<ul style="list-style-type: none">• 市の課題解決に関するアイデアを募集し、選定されたアイデアは、ユーザーテストやデモを経て、具体化される。市とスタートアップ企業が合意した場合、実際に市のシステムとしての利用が検討される。• 実際に採用されたアイデアは以下の通り。<ul style="list-style-type: none">✓ 地域ボランティアについての情報管理プラットフォームの構築✓ 公共車両の調達向上、発注提案の電子化による効率化✓ 市民の娯楽施設の予約ソフトウェアの構築✓ 公共職員用の産業地域の地番のマッピングや変更追跡のためのソフトウェア構築✓ フォスターペアレント用の携帯ウェブアプリ✓ 警察署の問い合わせやサービスの効率化分析ソリューション✓ 市の予算やパフォーマンスを分析するアプリケーションの構築✓ 地方の向上や物流チェーンに特化した調達プラットフォームの構築✓ 職員がホームレスの市民を見守り、社会サービス施設と連携するためのシステム✓ 消防署の緊急対応プラットフォームの構築
予算規模	• 2014年から3年間で米商務省から474,000米ドルの補助
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none">• 2016年は1月末～2月末に公募を行い、開発・研修期間は7月末、結果プレゼンを8月、デモは9月に開催し、14社のベンチャーを選出• 2017年も3月～4月に公募予定
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none">• 各専門家（公共セクターの需要理解、製品開発、マーケティング、提携経営、オフィスの貸し出しなど）のアドバイス• 事業パートナーの紹介

STiRのミッション

テクノロジーを駆使して自治体と企業家が共同し、技術を駆使して自治体の対応、効率、アカウントビリティを向上させる



2016年9月に行われたデモの様子



ベンチャーや市民等の力を活用した街づくりの事例

自治体がアイデア募集を主催し民間につなげる - その②

「Cognicity Challenge」

アイデア募集	公共
事業企画	民間
事業実施	民間

事例名	<ul style="list-style-type: none"> Cognicity Challenge
都市名	<ul style="list-style-type: none"> 英国ロンドン市
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ロンドン市・Canary Wharf Group
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 民間ベンチャー
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の都市開発やスマートシティに関するアイデアをコンペ形式で募集し、選定されたスタートアップ企業は実際に市のシステムとしての利用が検討される。 テーマは、持続可能な建物、建物の自動管理、コネクテッドホーム、交通統合、リソース統合管理、バーチャル設計および建設の6つ。 選出された推進企業は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ロジスティック管理ウェブシステム ✓ 太陽光発電フィルムガラス ✓ クラウドベースのLED照明管理・分析システム ✓ 大規模オフィスの非効率な個所を分析するシステム ✓ 好気性堆肥廃棄処理システム ✓ 交通渋滞解消・交通安全システム ✓ リアルタイムで交通情報を収集分析するモバイルアプリ ✓ 人の移動・集合モニタリングプラットフォーム ✓ オンデマンドの電動小型タクシー ✓ 地域的・動的条件をクリアするナビシステム
予算規模	<ul style="list-style-type: none"> 選出されると1社につき賞金5万ポンド授与
成果展開の状況	<ul style="list-style-type: none"> 2014年は10月から公募を行い、12社のベンチャーを選出 開発・研修期間は12週間
地方自治体の支援	<ul style="list-style-type: none"> Intelがネットワークインフラストラクチャを支援 市のオフィスおよび研修スペース(Cognicity Hub)を使用可能・業界関係者と情報交換しながらプロジェクトを進行する パートナーやスポンサーの技術会社・グループチームによる12週間の集中開発プログラムを受けられる

Cognicity Challengeのミッション

スマートシティ技術を駆使した製品およびサービス開発を認識・推進し、カナリー・ワーフ(ロンドン東部ウォーターフロント再開発地域)に世界最先端の1つとなるスマートシティ地域を創出する



2016年2月に行われた総括会議の様子

